



(3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	15	
需用費	36	
役務費	12	電話、郵便代
委託料	952	業務委託
合計	1,015	

**決定額の考え方**

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

近年、台風・地震災害が多発している中、実際に木造応急仮設住宅の建設訓練・一定期間の展示を行い、事前に施工に関する問題点・必要工期や居住性の検証等を行い、被災時の建設スケジュールの想定や更なる居住性の向上等のための仕様書見直しのためのデータ等を取得する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

定性的な効果を目的とする事業であり、定量的な指標の設定は困難。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>施工・維持管理上の課題検証として一般県民や建設関係者向け見学会等を開催し、計195人の見学者へのアンケートを実施した。</p> <p>成果としては、検証結果を反映した岐阜県仕様の見直しを行うことができた。また、災害時における建設体制整備の強化を図ることができた。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>・災害時において迅速に建設する必要がある、机上の成果物で満足するのではなく、実際に建設することによる問題点の検証や見直しの検討は、非常時の事前準備として重要なものとする。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・当初は2年以上（3年間）存置し、令和4年度に解体訓練を実施する予定であったが、コロナ禍の影響で、特に、福祉団体等に対する見学会ができていない。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・木造仮設住宅の解体を延期し、令和4年度も維持管理することで、引き続き耐久性や居住性に関する検証を実施し、岐阜県仕様の見直しを図る。</p> <p>・解体訓練の検証内容を検討する。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	